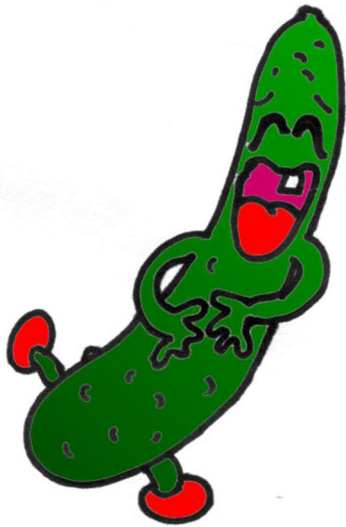
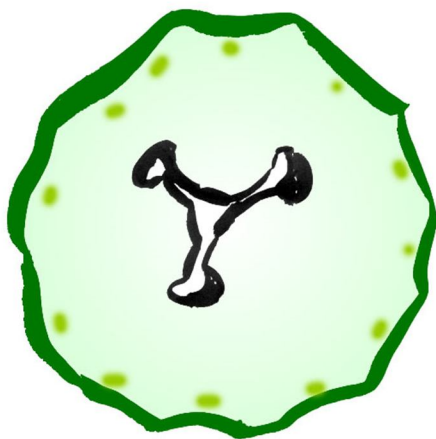


「笑うキュウリ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



「笑うキュウリ」といっても、こんな変なもの話題ではない。これでは「日本妖怪図鑑」44ページの「化けきゅうり」である。キュウリを輪切りにすると、時々、中に空洞があることがある。今回はその話題である。



イラストで描くと、こんな感じである。これは何だろうか？キュウリが呼吸する為の気道だろうか？実はこれは「空洞果」と呼ばれる現象である。

商品として出荷できる野菜を育てるには、水分、肥料、温度管理、日照などを、きめ細かく管理しなければならない。ところが、それらが完璧に管理されればならず、そうなると、キュウリ（果実）に空洞ができてしまうらしい。

このような「空洞果」は、キュウリに限ったことではなく、トマト、ナス、イチゴなどの果実にも見られる。スイカを切った時にも、空洞があつてがっかりすることがある。空洞のないスイカを選ぶのに、トントン叩いて音を聞くのはこの為だ。また、果実だけではなく、ダイコン（根）やジャガイモ（地下茎）などにも見られる。ただし、レンコンには穴がないと困る。

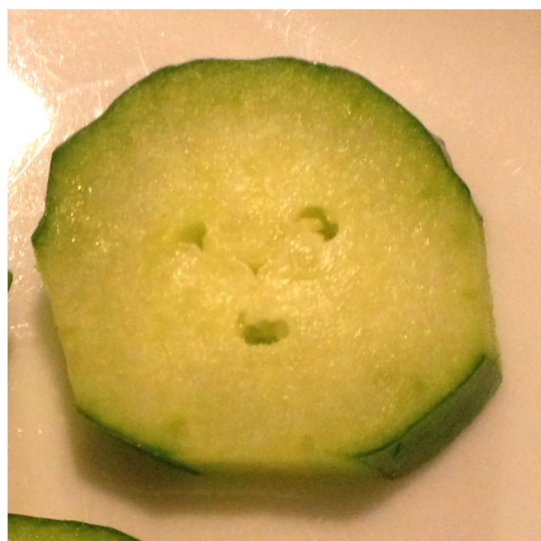
では、「キュウリの顔」ギャラリーをお楽しみいただきたいと思います。(ビッグボーイのサラダバー)



(1) 中心まで空洞の「猫のツラガマエ」



(2) ちょっと困った顔の「こまったさん」



(3) 今回優勝した「笑うキュウリ」

学校の畑で、キュウリを収穫したら、ただ食べるだけでなく、輪切りにして顔を観察してみると良い。傑作が現れたら、スタンプとして使うのも楽しいだろう。